

ぼくの本気の手紙も
いつも本気の鬼太郎さんへ 長尾光倫
ふじが三年二組

ぼくは家族には内しよなんだけど、鬼太郎さんのことをそんなけいしています。なぜかというと、それは鬼太郎さんがいつでも、どこでも、何にたいしても本気でたち向かう勇気と力を持っているからです。

はつきり言って、鬼太郎さんってものすごくまじめですよ。もし妖怪の世界にも学校があつたら、ワラスのリーダーだと思ひ、せいせきもいいんだらうなあ。少しうらやましいです。ぼくが特にすごいなと思うのは、

みんながいやがるようなことでも鬼太郎さんはぜったいに「まあ、いいや。」っていいかげんな風にしないと。たとえば学校でそうじをする時でも、鬼太郎さんだつたら全然手ぬきをしないで、すみからすみまでずつきんかけをしたりとか、ぼくたちが「めんどろくさいなあ。」って思うようなことも、さいい後まであきらめずじやり通したりとか、とにかく真けんにやっつてしまふんだと思います。それってかんたんじやないよね。すごいです。

それにしても、鬼太郎さんのまわりで起こる事件って、ぼくなんかはだしでにげ出しそ
うなことばかりですよね。でも鬼太郎さんは
一回もにげ出したことはないね。妖怪だって
いうと、人間たちは「そんなものはいるわけ
ないさ。迷信だよ。」なんて言っ、はじめは
知らんぷりしています。みんな昔のことだっ
て思ったり、ただの空想と思ったり、ホラー
映画のみすぎだとか、目に見えないからって
信じてないんだよね。それがすぐ目の前に出て

来てあばれたりものすごく困ったことになっ
てはじめて「これは大変だ。とにかくにげな
くちや。」って、他の人のことはかまわずに鬼
太郎さんにまかせっきりのままどこかへ行っ
てしまふんだよね。それでも鬼太郎さんは
やさしいです。そんな人たちをわかってあげ
て、けっして見すてようとはしないんだもの。
都合のいい時だけヒーローにして、ふだんは
見向きもしてくれないのにはです。でもね、も
しかするとそういう人たちは、鬼太郎さんの

ことも他の妖怪やようせいさんたちのことも
きつと何も見えていないのかもしれないあ
ぼくはね、鬼太郎さんのおかげでどんな時
でも一人ぼっちじゃないって思えるんです。
学校帰りの一本道で暗い竹林の横を通る時、
さわさわって葉っぱがこわい音でゆれていて
も、ふつと後ろをふり返ったら鬼太郎さんや
他のやさしい妖怪さんたちがいっしょにいて
くれる気がします。だってこの世界中のもの
にひとつひとつ大切な命があって、名前もつ
いていて、目には見えないところで葉っぱど
うしがいろんな話をしているんじゃないかと
思うし、川や湖にだつておもしろい妖怪さん
がふわふわうかんで楽しそうにしているんだ
と思うと、ぼくは本当にさびしくありません。
鬼太郎さん。どうかこれからもぼくだけじ
やなくて、世界中の人間たちのために、いつ
も本気でずつとずつと見守って下さい。ぼく
の本気の手紙です。読んで下さい。